湖南市防災士連絡会
助けられる人から、助ける人へ。

会報 第7号

令和6年3月発行

発行：湖南市防災士連絡会（情報共有委員会）湖南市中央１－１　湖南市危機管理局　危機管理防災課気付　Tel　0748-71-2311

令和６年１月２８日（日）、甲西文化ホールにて「防災活動内容報告会」を開催しました。防災士が６６人、各区・自治会やまちづくり協議会の役員・防災関係者と合わせて138人の方にご参加いただきました。本会報は、報告会をダイジェストでご紹介し、会員の方々にもっと関心をもっていただくとともに、広く多くの方々に本会の活動を知っていただくことを目的としております。

進　行　表

開会　　**会長あいさつ**
　　来賓祝辞
事例発表　　**防災士連絡会の活動報告**
　　区、自治会の防災に関するアンケート結果について
地区防災活動の事例報告
　　①石部学区まちづくり協議会
　　②三雲区
質疑応答
閉会

来賓として、湖南市地域代表者会 会長 山中邦夫 様 湖南市危機管理局 管理監 西川朋之 様 にお越しいただきました。

お二人からは、地域防災活動のリーダーとして大災害に備えたスキルアップと地域防災力の強化の期待。
また災害と無縁とは言えなくなっており、市も連絡会と協力してる。　とご祝辞を頂戴しました。

事例発表と地区防災活動の事例報告を紹介します。詳細につきましてはホームページに掲載しておりますので是非ご覧ください。

●防災士連絡会の活動報告●

ホームページへのアクセスはこちらから

◎環境整備委員会

◆　**学校の防災活動への協賛**

1.甲西北中学校「防災フェスタ2023」に協賛

2.三雲東小学校「お迎え・引き渡し訓練」に協賛

◆　**防災活動内容報告会の資料冊子の製本（検討中）**

令和4年度・5年度の事例発表資料

甲西北中学校「防災フェスタ2023」への協賛
主　催　：甲西北中学校学校運営協議会
参加人数：生徒、PTA、地域住民の方々159人
内　容　：ボランティア部の生徒さんの防災学習成果
（体験実験、防災備品、防災啓発展示）

かまどベンチ炊き出し訓練

非常時持出袋展示説

◎情報共有委員会

◆ホームページ勉強会　参加人数：８人　記事投稿件数：１０件
◆会報発行　第６号を発行し防災士および各区に配布しました

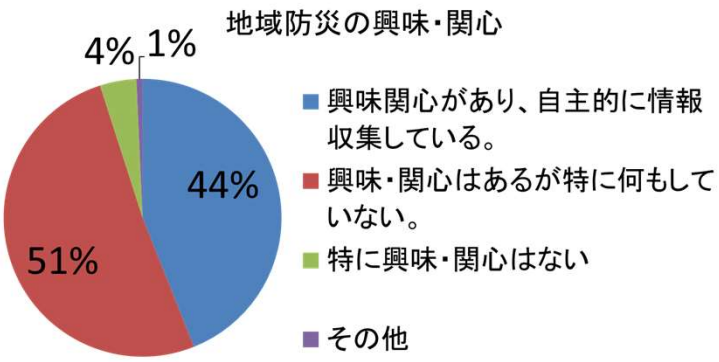
◎情報提供委員会

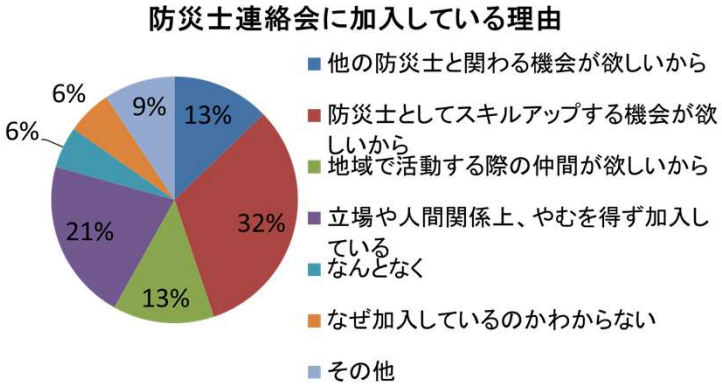
◆地区防災計画作成補助　◆防災士インタビュー
◆家庭での安全対策紹介　◆各区防災取組事例紹介
◆会員へのアンケート

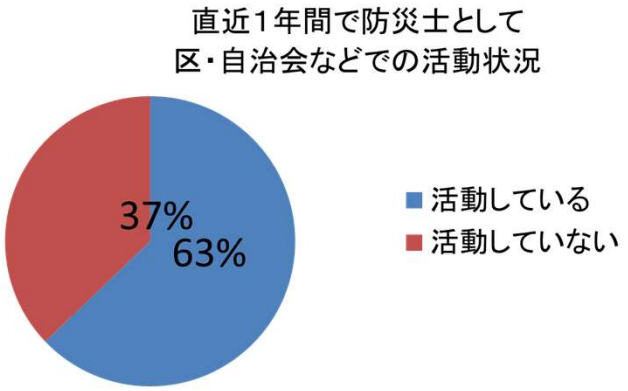
アンケート回答率　会員数：240人
回答：140件　回答率：60%

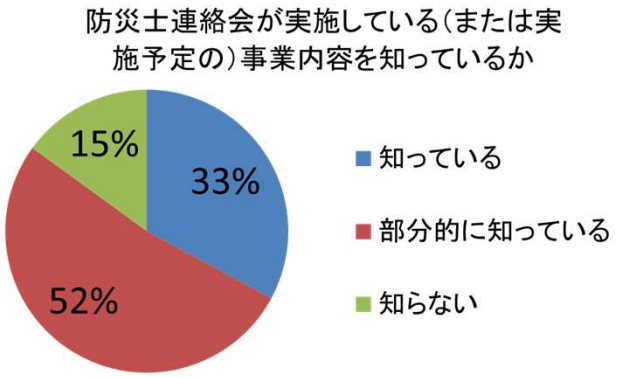
学区別 回答率

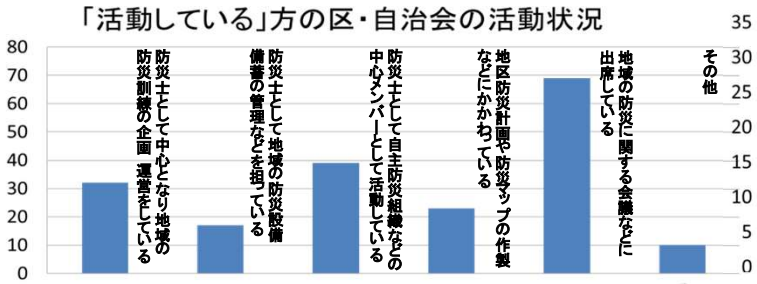
三雲	36件	63%
石部	15件	75%
石部南	18件	62%
岩根	12件	46%
菩提寺	25件	61%
下田	14件	44%
水戸	19件	66%

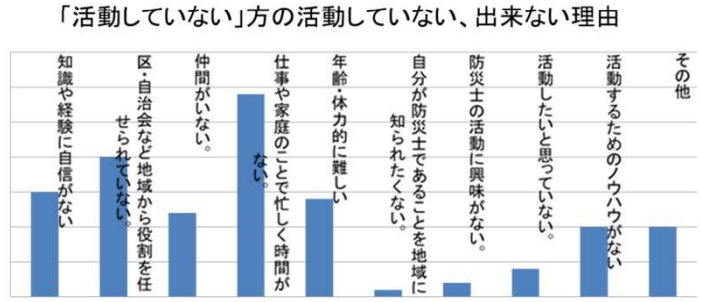












他に自由記述として
■防災士を続けている理由　■防災士連絡会に望むこと　■防災士として地域で実施したいこと
■防災士連絡会にしてほしいこと　■連絡会に対して意見・要望等　を回答いただいています

◎スキルアップ委員会

◆先進地視察研修　人と防災未来センター・神戸市危機管理センター防災展示室への視察研修

・バス車内で防災クイズ防災ＤＶＤ視聴
・参加者 19名

阪神・淡路大震災で被災された語り部の方による講話

〇息子の住むアパートが崩れ生き埋めに、通りがかった人たちと力を合わせ運よく救出。
〇とにかく水がほしい！備蓄しておいてほしい！
〇避難所（学校）で初めに皆で行った作業は排泄物を埋めるためグラウンドに穴を掘った。
〇避難所では間が経つにつれ、人の心に妬みやずるさが出てきていた。
〇避難場所を家族で決めておく。そのルートの安全面も確認しておいて欲しい。

◆スキルアップ研修　地震災害講座ー防災士に求められる活動や避難所における諸問題への対応ー

講師 滋賀県地域防災アドバイザー 防災士 笠原恒夫 氏
湖南市危機管理・防災課　米津課長

・参加者数　３７名（内非会員８名）

活動・役割として学んだこと

発生前　防災計画の策定 知識の普及 訓練の実施 資機材の整備 避難行動要支援者の把握
発生直後　自身・家族の安全確保 近隣での助けあい
数時間後　安否や被害の情報収集 初期消火活動 救出活動 負傷者の手当・搬送 避難誘導 要支援者の避難支援
数日後　避難所運営 情報伝達 物資配分・物資需要の把握 防疫対策 し尿処理 防犯活動

停電、上下水道の損壊により水洗トイレは使えなくなる!!

仮設トイレはすぐには届かない！
湖南市では応援協定を締結している業者もあるが、広域で災害が起こった場合は手に入れることが昆困難

避難所では
健康被害
衛生環境悪化

地震災害はいつ起こるかわからない
防災をやり続けることが大事

◆スキルアップ技能講習　普通救命講習4回開催

・受講者 会員12名 他
・救命技能の習得
（AED・心臓マッサージによる心肺蘇生）

事例報告
①石部学区まちづくり協議会

発表者：石部学区まちづくり協議会長　谷口さん
青木さん

発表内容

子どもも高齢者も参加して

楽しく学べる防災訓練の取組

1．防災訓練の変遷

2．いしべまもりんピック誕生の背景

3．いしべまもりんピックの概要

4．今後の課題

各区ごとがあたり前であった防災訓練を４区合同で実施
- 消防署、消防団の協力を得て各年ごとの工夫
- 実施場所は利便性にて選定

平成30年からは
- 参加者の固定化を解消するため、石部小学校は市指定の避難所になっており、グラウンド芝生化をきっかけに

↓

地域交流を兼ねた防災訓練
いしべまもりんピック

子どもも高齢者、自治会員以外も参加できるよう運動会形式
住民の意識向上、自分たちの避難場所として位置付
交流を重ねることにより「有事」を日常化

いしべまもりんピックの様子




今後の課題
- ○石部学区まちづくり協議会の防災チーム結成
- ○自治会員以外の参加者の拡大
- ○各区の組織率の向上と「ふるさと防災チーム」の拡充

避難される人は自治会員以外もある

事例報告
②三雲区

発表者：三雲区長　井上さん
稲塚さん

発表内容

自分の命　家族の命　を守る

災害に備えよう今できること

1．三雲区の概要及び区の組織について

2．今回の取組内容について

3．今後の取組について

地域には野洲川や荒川があり、区は16の自治会で構成
自治会加入率約46%で新興地の防災力の低下の懸念

地区防災計画策定の取り組み

背　景
近年集中豪雨による甚大な被害・南海トラフ地震等への備えが必要

目　的
住民一人ひとりの防災意識や地域住民間の『共助』の意識向上と自主防災組織のパワーアップ

取組内容
1.区民と行政関係者機関及び専門家とが一体となって本事業を取り組む

2.計画策定アドバイザー育成研修会の実施

3.取組期間　1年
2022年3月～2023年3月

外部専門（指導）２名　　行政関係 県1名 市２名
区 67名　＊ふるさと防災チーム（防災委員）防災士含む
＊各自治会長　＊育成会　＊体育委員

キックオフ～ワークショップの開催

☆顔合わせと打ち合わせ及び アンケートの実施
☆3回のワーキングショップを開催

発表会

全16自治会から
①連絡体制
②要支援者把握と支援体制
③危険個所
④避難ルートについて

三雲区地区防災計画書の提出　２０２３年2月

三雲だより特集号の発刊と防災グッズの提供(2023.7)

ハザードマップの更新

今後の取組

三雲区全体
三雲区民を増やす
1.区事業の見直し
2.地域コミニィティー活動

ふるさと防災
1.継続の取組事項
2.新たなテーマでの取組

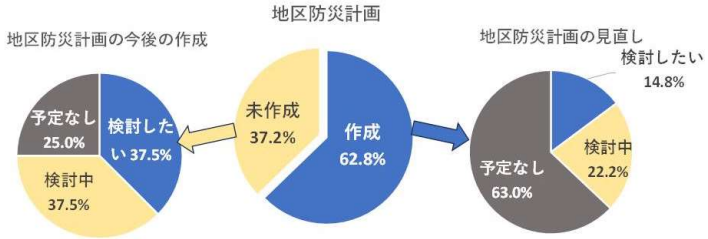
本地域計画防災を通じ　今後とも**自然災害による死亡者をださない“死者ゼロ”**防災活動を進めます。

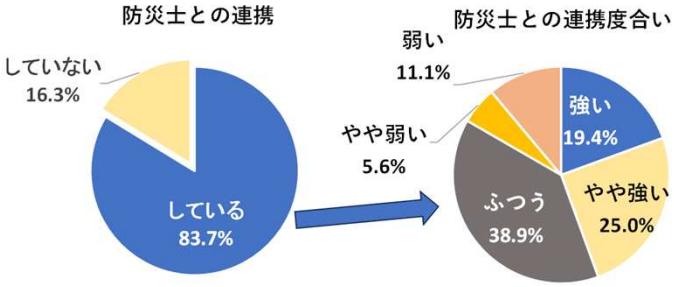
区・自治会の防災に関するアンケート結果について

目的：区・自治会における最新の防災活動の現状と課題を把握するため、
区長様へアンケートを依頼し防災士連絡会の活動内容へ反映させる

アンケートの回収率：100%

地区防災計画の作成について





各項目での意見（要約）

地区防災計画についての意見

- 区長・役員の任期が1年→長期にわたる地区防災計画の作成の障害
- 区内での災害の実績がない→意識が低く、意見がまとまらない
- 地区防災防災計画の区民への周知と高齢化に対する対応が必要

防災・減災訓練についての意見

- これまでの訓練のやる方では役員等一部の人のみの参加→参加しやすい訓練の検討
- 訓練に対する意識度・感知度が低い、特に若年層（30代）
- 高齢者の増加→訓練参加者の減少が課題

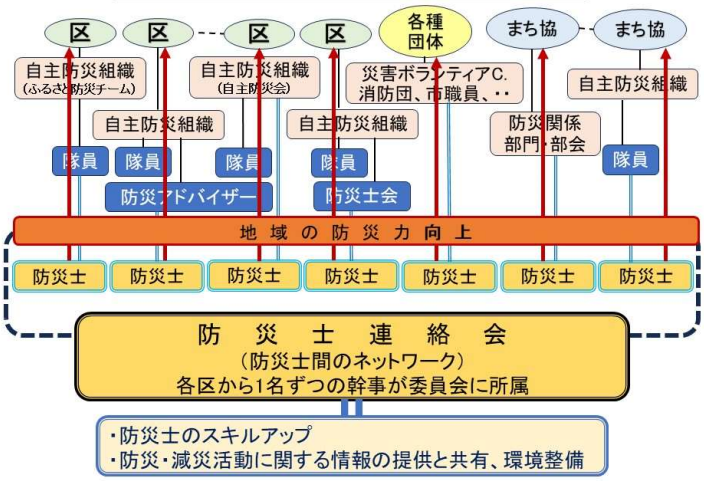
区・自治会と防災士の連携についての意見

- 防災士の高齢化→増員したいが候補者を探すのが困難
- 防災士取得が自らの意志でなく区の要請→自主的な参加は望めない
- 区から区内の防災士への働きかけが少ない→強化すると共にスキルアップを期待したい

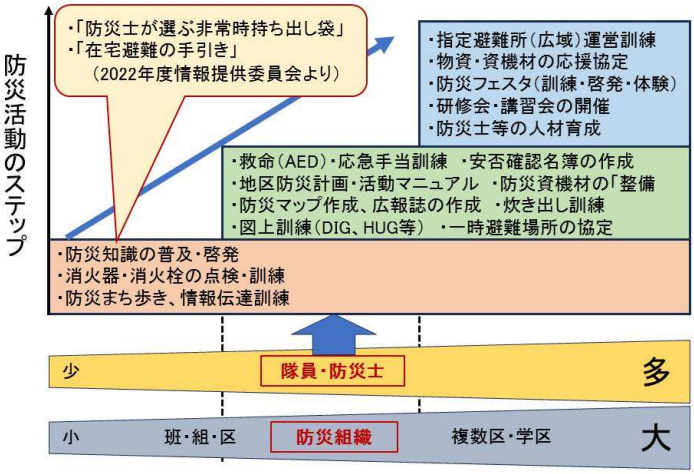
防災士連絡会対しての意見

- 防災士のまち協レベルの防災活動に期待したい
- 防災士連絡会の役割と活動内容がよく分からない
- 資格取得後数年経過した防災士へのフォローアップ講習を実施してほしい

防災士連絡会の位置づけ



各地域に合わせた防災士との活動案



ま　と　め

課　題	改善策・提案
● 防災士の自主的な参加少ないなり手不足⇒位置づけ不明確 スキルアップへの期待	● 区での防災士の位置づけを明確化⇒防災組織への参画 継続的スキルアップの推進
● 防災訓練参加者の減少（高齢化、形式化）	● 規模に応じた防災訓練内容の提案、実施例の情報提供
● 全体的な防災意識の低下	● 各種啓発活動材料の充実化
● 防災士連絡会の活動が見えない	● ホームページ、会報のほかの情報伝達・共有方法の検討

防災士と区・自治会の相互の働きかけにより防災力向上に御協力をお願いします！

会場受付では能登半島地震災害義援金の募金箱が設置され、14,490円の募金が集まりました。
社会福祉協議会から日本赤十字社を通じ義援金を送らせて頂きました。お志を賜わりました皆様、ありがとうございました。

湖南市防災士連絡会ホームページ

会員皆さまへの有用な情報の提供、情報の共有を目指しています。
ご意見、お問い合わせは、ホームページの「フォーラム」や「お問い合わせ」で。

https://konan-bousai.com/